

# 国語教育 実技・理論 研修会 終了報告

<p>テーマ</p>	<p>主体的・対話的で深い学びに迫るための授業づくり ～子どもを育てる評価とは～</p>	
<p>日時</p>	<p>令和 4年 8月26日(金) 15:30～16:30</p>	
<p>会場</p>	<p>北広島市立緑ヶ丘小学校</p>	
<p>講師</p>	<p>青木 伸生 氏 筑波大学附属小学校教諭</p>	
<p>参加者</p>	<p>46名</p>	
<p>研修会 の 様子</p>		<p>本年度の理論研修会は、ZOOM で筑波大学附属小学校と北広島市立緑ヶ丘小学校を繋いで開催しました。 扱っていただいた教材は小学校2年生教材の『どうぶつ園のじゅうい』と、小学校5年生教材の『たずねびと』でした。</p>
	<p>『どうぶつ園のじゅうい』では、獣医の仕事の数を数えさせることで、普段の仕事やその日の仕事と分けたり、診察と治療と日常の仕事と分けたり、多面的に読むことの大切さを学びました。 『たずねびと』では、自分で課題を持たせることによって、複数の主題をとらえることができ、個別最適な学びに迫ることができることを学びました。</p>	
	<p>研修のまとめとして、ノートを自分のレイアウトや言葉で表現させ、読むためのフレーム(目のつけどころ)をもたせることにより、個別最適な学びを創ることの大切さについて教えていただきました。</p>	